

公益社団法人 日本水産学会
令和3年度第6回理事会議事録

1 開催された日時 令和3年11月27日(土)13時00分～14時56分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数 17名, 定足数 9名

4 出席理事総数 16名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二、吉崎悟朗、潮 秀樹、八木信行、廣野育生、山下 洋、
中田 薫、横山芳博、佐野元彦、越塩俊介、木村暢夫、落合芳博、
平塚聖一、澤山茂樹、野田幹雄、大嶋雄治

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男、舞田正志、野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

横田賢史、團 重樹、澤山英太郎、長阪玲子、小山寛喜

7 議 案

決議事項

- | | |
|--------|--|
| 第1号議案 | 「会費免除承認」の件 |
| 第2号議案 | 「令和4・5年度東北支部担当理事候補者の追加」の件 |
| 第3号議案 | 「水産利用懇話会委員会委員の交代」の件 |
| 第4号議案 | 「創立100周年事業の積立金の計画変更」の件 |
| 第5号議案 | 「会員システムのサーバー入替費用及び機能改修費用の積立」の件 |
| 第6号議案 | 「学会事務局パソコン環境の保守」の件 |
| 第7号議案 | 「令和3年度日本水産学会各賞受賞者の決定」の件 |
| 第8号議案 | 「学会賞選考委員会内規の一部改正」の件 |
| 第9号議案 | 「令和3年度学会賞・論文賞授賞式の日程及び開催方法」の件 |
| 第10号議案 | 「令和4年度秋季大会の日程変更」の件 |
| 第11号議案 | 「Fisheries Science 88巻における会員販売促進の継続」の件 |
| 第12号議案 | 「日本水産学会誌 88巻における会員販売促進の継続」の件 |
| 第13号議案 | 「令和4年度日本農学会運営委員の選出」の件 |
| 第14号議案 | 「協賛」の件 |
| 第15号議案 | 「入会承認」の件 |

報告事項

- ① 第5回理事会以降の職務執行状況
- ② その他確認事項

8 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「会費免除承認」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 2 号議案 「令和 4・5 年度東北支部担当理事候補者の追加」の件

廣野総務担当理事から、片山知史会員を令和 4・5 年度役員候補者名簿における東北支部担当理事候補者の最下位に追加する原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 3 号議案 「水産利用懇話会委員会委員の交代」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で下記の通り可決した。

[退任] 千葉 博 [選出] 堀 英夫

第 4 号議案 「創立 100 周年事業の積立金の計画変更」の件

佐野財務担当理事から、令和 3 年度の積立金を 200 万円に変更する原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 5 号議案 「会員システムのサーバー入替費用及び機能改修費用の積立」の件

佐野財務担当理事から、令和 3 年度から令和 8 年度までに計 850 万円の積立を行う原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

本件について以下の質疑があった。

金子会長「遊休財産と今年度の黒字分は異なるものと認識して良いか。」

佐野理事「異なるものである。貯金等で所有している資産が遊休財産である。」

第 6 号議案 「学会事務局パソコン環境の保守」の件

佐野財務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 7 号議案 「令和 3 年度日本水産学会各賞受賞者の決定」の件

山下担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。なお、各賞選考の総評および選考経緯の文章について各理事による確認の時間を設け、文言等において一部修正することになった。

日本水産学会賞

酒井隆一 「天然物化学の視点から展開する海洋生物の有効利用に関する研究」

東海 正 「持続的漁業を目指した漁具・漁法の開発と改良に関する研究」

日本水産学功績賞

浜口昌巳 「魚介類の初期生態と藻場・干潟の機能の解明および保全・再生に関する研究」

水産学進歩賞

家戸敬太郎 「マダイの品種改良に関する研究」

小池一彦 「微細藻類，特に有害有毒プランクトンと褐虫藻の生理生態学的研究」

山本昌幸 「瀬戸内海における重要魚介類の資源特性に関する研究」

水産学奨励賞

小澤秀夫 「魚貝類筋肉タンパク質の構造特性に関する研究」

桐明 絢 「魚類刺毒に関する生化学的研究」

阪井裕太郎 「水産政策，漁業管理および水産物市場に関する経済学的研究」

松本 萌 「魚類の細胞性免疫を効果的に惹起するワクチンアジュバントの開発」

水産学技術賞

石崎松一郎、久田 孝

「食用魚介類，特にサメ類の臭気除去技術の開発および利用加工への応用」

及川 寛、柴原裕亮、山本圭吾

「麻痺性貝毒簡易検査キットの開発と普及」

第 8 号議案 「学会賞選考委員会内規の一部改正」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

本件について以下の質疑があった。

金子会長 「どのような必要性があり、改正を行うに至ったのか。」

山下理事 「日本学術振興会賞は非常にレベルが高く、申請書類の量も多い。旧来の内規では、毎年得票数の多い会員を必ず推薦しなければならなかったが、学会としては受賞の可能性が高い会員を推薦したい。したがって、選考委員の過半数が賛成した場合のみ推薦するように改正した。また、選考過程で想定される事柄についての対応も改正案に追加した。」

金子会長 「承知した。」

潮理事 「日本学術振興会賞は自薦の可能性が非常に高いため、内規に自薦を追加したと考えることができる。従来の内規では、過去 2 年間の水産学進歩賞または水産学奨励賞の受賞者を候補の対象としているため、若くしてこれらの賞を受賞した会員は 2 年後には日本学術振興会賞の候補者から外れてしまう。したがって、このような会員が候補者となるためには自薦が必要であろう。」

金子会員 「良い仕事を行っていても推薦者がいない場合も考えられるため、自薦は重要であろう。」

山下理事 「今年度は日本農学進歩賞で自薦があった。このことから自薦は一

つの方法といえるだろう。」

第 9 号議案 「令和 3 年度学会賞・論文賞授賞式の日程及び開催方法」の件

廣野総務担当理事から、授賞式は春季大会期間中にオンラインで行うという原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 10 号議案 「令和 4 年度秋季大会の日程変更」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

変更前 令和 4 年 9 月 24 日～26 日

変更後 令和 4 年 9 月 5 日～7 日

第 11 号議案 「Fisheries Science 88 巻における会員販売促進の継続」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 12 号議案 「日本水産学会誌 88 巻における会員販売促進の継続」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 13 号議案 「令和 4 年度日本農学会運営委員の選出」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で下記の通り可決した。

[選出] 長阪玲子（東京海洋大学）

第 14 号議案 「協賛」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の協賛を可決した。

① 第 15 回日本電磁波エネルギー応用学会研究会

主 催 日本電磁波エネルギー応用学会

共 催 IEEE MTT-S Japan/Kansai/Nagoya Chapter 他 9 団体

日 程 2022 年 1 月 14 日

場 所 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

第 15 号議案 「入会承認」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

（報告事項）

① 第 5 回理事会以降の職務執行状況

・会長

金子会長から、以下の報告があった。

1) 令和 3 年 12 月 10 日開催の水産・海洋科学研究連絡協議会に廣野総務担当理事が代理で出席する。

2) WCFS のビジネスミーティングについて以下の報告があった。

1. 会長および副会長の選出が行われた。

2. 2024 年に WFC がシアトルで開催される。
 3. 日本水産学会の活動報告を行った。
 4. WCFS の会計報告を確認した後、会費支払いについて検討する。
- 3) 11 月 11 日に開催された「鈴木たね子先生を偲ぶ会」に参加した。
- 4) 「海とさかな 自由研究・作品コンクール」の日本水産学会会長賞授賞作品が決定した。

・庶務関係

廣野総務担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 令和 4・5 年度支部幹事の選挙結果について。
- 2) 令和 4・5 年度役員候補者（理事及び監事）の選挙結果について。
- 3) 学会事務職員の期末手当について。
- 4) 以下の協賛及び後援について、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3) を適用した。

① 海洋調査技術学会第 33 回研究成果発表会

主 催 海洋調査技術学会

協 賛 海中海底工学フォーラム ZERO 他 19 学協会

日 程 2021 年 11 月 18 日・19 日

場 所 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

② 第 59 回アイソトープ・放射線研究発表会

主 催 日本アイソトープ協会

協賛・後援 応用物理学会 他 64 学協会

日 程 2022 年 7 月頃

場 所 東京都内会場又はオンライン開催

希 望 後援

負担金 なし

・企画広報関係

吉崎担当理事から、11 月 15 日に開催された第 5 回企画広報委員会にて日本水産学会誌 88 巻 1 号から 3 号までの掲載内容確認を行ったことが報告された。

・財務関係

佐野担当理事から、寄附金について報告された。

・編集関係

潮担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 論文賞の選考が行われた。
- 2) 研究成果公開に関して科研費からの支援があるが、今後、不足分は水産学会の経費での補填を検討する議論が始まる可能性がある。

・学会賞関係

山下担当理事 特になし

・シンポジウム関係

落合担当理事から、令和 4 年度春季大会のシンポジウム 1 件及びミニシンポ

ジウム 1 件が承認されたことが報告された。

- ・ 出版関係

 - 大嶋担当理事 特になし

- ・ 水産技術誌監修関係

 - 中田担当理事から、監修委員会の規則が現状に合わせて改正されたこと、及び第 14 巻第 2 号の編集は順調に進行していることが報告された。

- ・ 国際交流関係

 - 越塩担当理事に代わり国際交流委員会の委員長である廣野理事から、令和 4 年度春季大会で英語による SDGs 関連の発表枠を設ける予定であることが報告された。

- ・ 水産教育関係

 - 山下担当理事 特になし

- ・ 水産政策関係

 - 八木担当理事 特になし

- ・ 漁業・資源管理関係

 - 金子会長 特になし

- ・ 水産利用関係

 - 横山担当理事から、今年度中にオンライン形式で講演会を開催する予定であることが報告された。

- ・ 水産増殖関係

 - 佐野担当理事 特になし

- ・ 水圏環境関係

 - 澤山担当理事から、令和 4 年度春季大会での委員会企画シンポジウムについて議論を進めていることが報告された。

- ・ 男女共同参画関係

 - 中田担当理事から、科学技術系専門職の男女共同参画実態調査へのアンケート協力依頼がなされた。また、12 月 13 日に男女共同参画協議会の運営委員会が開催予定であることが報告された。

- ・ 水産学若手の会関係

 - 潮担当理事から、令和 3 年度秋季大会にてミニシンポジウム及びナイトポスターセッションがオンライン開催されたことが報告された。また、SNS による情報発信の問題点の検討を行い、ポリシー案を作成する方針であることが報告された。

- ・ 社会連携関係

 - 横山担当理事 特になし

- ・ 将来計画関係

 - 越塩担当理事 特になし

- ・ 北海道支部、地域連携関係

 - 木村担当理事から、令和 4・5 年度の支部幹事選出のための選挙をオンラインおよび書面にて実施したことが報告された。オンラインでの投票数は、全体の 79%であった。また、12 月 11 日に令和 3 年度支部幹事会および総会をオンライ

ンにて開催予定であることが報告された。

- ・東北支部、地域連携関係

落合担当理事から、支部幹事選挙をオンラインにて行い、特段問題はなかったことが報告された。また、10月23日に支部大会をオンラインにて実施したこと、及び10月29日に第30回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表東北地区大会がオンラインにて開催されたことが報告された。

- ・関東支部、地域連携関係

金子会長から、令和4年度春季大会の日程、使用設備及び見積りに関する報告があった。

- ・中部支部、地域連携関係

平塚担当理事から、12月4日に中部支部大会を予定していることが報告された。

- ・近畿支部、地域連携関係

澤山担当理事から、12月5日に支部幹事会および例会をオンラインにて開催予定であることが報告された。

- ・中国・四国支部、地域連携関係

野田担当理事から、12月4日、5日に例会をオンラインにて開催予定であることが報告された。また、支部幹事選挙は業者に委託し、i-voteを用いたオンライン投票で実施し、特段問題がなかったことが報告された。

- ・九州支部、地域連携関係

大嶋担当理事から、支部幹事選挙がi-voteを用いて実施され、特段問題がなかったことが報告された。また、1月6日に支部総会及び大会をオンラインにて開催予定であることが報告された。

- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事 特になし

- ・財務検討委員会（特別委員会）

佐野担当理事から11月8日に委員会を開催したことが報告された。

② その他確認事項

(1) 事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程について

廣野総務担当理事から、事業計画・予算書および事業報告・決算報告の提出日程についての説明があり、締切りを厳守するよう要請があった。

(2) 引継ぎ事項について

廣野総務担当理事から、役員および監事の交代に伴う引継ぎ事項の作成依頼があった。

(3) 次回の理事会について

廣野総務担当理事から、次回の理事会は令和4年2月5日（土）13時からWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、14時56分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和3年11月27日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事